



道 標

みち

しるべ

2013/11/12

NO. 69

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

《体験入学・見学情報》

◎あいち造形デザイン専門学校(専修)

◆日時 12/7、14(土) 9:30~12:00

◆内容 体験入学

◆申込期限 11/26(火)まで

◎山本学園文化情報専門学校(専修)

◆日時 12/7、14(土) 9:30~12:00

◆内容 体験入学

◆申込期限 11/26(火)まで

◎明和高校(公立)

◆日時 12/14(土) 16:00~20:00

◆内容 定期演奏会

◆申込期限 11/26(火)まで

※先着順なので、早めに!

◎瀬戸北総合高校(公立)

◆日時 12/14(土) 10:00~11:30

◆内容 体験入学

◆申込期限 11/28(木)まで

進路担当より

第3回の進路希望調査の結果を踏まえて、現在は教育相談が進んでいます。いろいろ悩むこともあると思いますが、この時期は現実をみて、じっくり考える時期です。

そして、12月には私立の受験校が確定となります。今は自分が進学したら何がしたいのかを考えてみましょう。



【難問】

「A高校とB高校とでは、どちらがレベルが高いですか？」

毎年必ずこんな質問が出ます。こんな時、どう答えればいいのか、正直なところ悩んでしまいます。おそらく「レベル」という言葉は、「入試で合格をもらうことの難しさ」を指しているのでしょう。しかし、「入試が難しい学校が、良い学校」と考えているとしたら、それは大きな間違いです。

確かに、「試験に難しい学校」に合格できたら、友達にも親戚にもカッコイイでしょう。でも、合格発表の後に続く3年間の学校生活を考えたとき、そうした「入試の難しさ」で学校を選ぶことは、真剣な姿勢で進路を考えているとはいえないのです。

「レベル」については話すけれど、その学校で行われている授業や行事について何も知らない人。また、その学校がどこにあるのかさえ知らずに「あの学校のレベルは…」なんて言っている人。家族や友達の話の聞いただけで知っているような気持ちになって、その学校の体験入学にすら行っていない人。このような人にとって「合格の難しさ」が進学先選択の基準になっているのであれば、その人の高校生活は何のためにあるのでしょうか。

各学校にはそれぞれ独自の教育方針や特色があります。大学進学に力を入れている学校、基礎的な学習定着に力を入れている学校、生徒の自主性を重んじる学校、部活動の盛んな学校…など。高校も専修学校も「レベル」というものさしで一列に整列しているようなものではありません。学校選びの基礎となるのは、

「自分に合った3年間の学校生活がおくれるのはどこか」

という視点です。

